

「小樽市ふるさとまちづくり協働事業」 事業報告書

1 / 2

団 体 名	小樽フラワーマスター連絡協議会			
事 業 名	「街角に花を」・「大型プランター設置」両事業			
実施期間	平成29年5月12日～平成29年11月20日			
事業の目的及び期待する効果	<p>会の目的にもとづき花や緑のあふれるまちづくりを進め、小樽の景観をもっと美しく、住民や観光客にとり潤いと温かみのある街並みを演出するため「街角に花を」「大型プランター設置」両事業を行う。</p> <p>特に今年度国道5号線小樽駅前電柱地中化事業が完了し、稲北交差点からJR小樽駅前までの歩道植樹柵が消滅しアスファルト化された。ただ駅前第1ビル前1ヶ所と長崎屋駐車場前にある既存の大型植樹柵2ヶ所は、かつての駅前再開発で整備済みとしてそのまま残されたことが開発局に照会し判明。さらに入船市場の閉鎖により閉塞感漂う入船商店街からの要望もあり、北海道開発局VSP(ボランティア・サポート・プログラム)事業で土壌交換を要請し、3年間の植栽事業支援事業に着手する。</p>			
実施額	事業費	353,562円	助成額	300,000円
事業内容	<p>「街角に花を」事業 JR小樽駅前中央花壇整備・植栽事業 総合博物館周辺マリーゴールド植栽事業 カトリック小樽教会富岡聖堂環境整備支援事業 国道5号小樽駅前、入船商店街（北海道開発局VSP事業）環境整備支援事業</p> <p>「プランター設置」事業 歴史的建造物・美術館・商店街等に大型プランターを設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手宮線プランター設置（旧手宮駅舎札幌側新設公園に1基新たに設置） ・運河プラザ " ・浅草橋街園 " ・堺町メルヘン交差点プランター設置（ルタオ本店に新たに設置） ・総合博物館周辺 " ・小樽美術館・文学館 " ・小樽運河ターミナル " ・カトリック小樽教会富岡聖堂プランター設置 ・花園銀座商店街・都通商店街 " ・遠藤又兵衛邸・後藤商店 " ・末日聖徒・イエスキリスト教会 " <p>ほかにオーセントホテル・水車プラザ等にプランターを設置 キャスター付き架台を新たに4個作製し、第3号ふ頭・勝納ふ頭に入港する豪華客船を歓迎する事業にプランターを使用した。</p>			

○内容が分かる「資料やチラシ等」を添付してください

月 日	内 容	想定事業効果 (参加人数等)	事業効果 (実績)
5/12~11/3	J R小樽駅前中央花壇整備・植栽事業	10人	10人
5/12~11/3	総合博物館周辺マリーゴールド植栽事業	20人	20人
5/12~11/3	カトリック小樽教会富岡聖堂環境整備支援事業	30人	30人
5/12~11/3	大型プランター設置事業	50人	50人
6/10~11/3	国道5号線小樽駅前・入船商店街VSP事業	100人	100人

◎事業評価について

1. 事業の目的の達成度

これまでの当会の活動や企業・団体・市民の取組により、観光施設や商店街に花が少ないということは解消に向かっていると思われる。臨港線周辺や総合博物館周辺にある花壇の植栽や花壇のない観光施設や観光拠点・手宮線沿線内さらに歴史的建造物等の入口や説明板の前に「Welcome to Otaru!」と書いた大型プランターを設置することで「小樽の景観をもっと美しく、住民や観光客にとり潤いと温かみのある街並みを演出する」という目的は達成されたと会員一同認識している。

しかし、既存の植樹柵の植栽が他市町村と比較しまだまだ弱い気がする。特に要である国道5号線小樽駅前第1ビル周辺大型植樹柵は、電柱地中化事業で地面から空に至るまで景観が一変しているなか過去20年以上年2~3回の除草のみで経過しておりました。

このため駅前第1ビル・長崎屋・北海道ファミリーの協力を得て3年間の環境整備支援事業を開始する。あわせて昨年の事業報告会で話しのあった入船商店街の要請にも対応し、北海道開発局に対し会として国道5号線入船付近の植樹柵の土壤交換を要請するとともに、VSP事業による北海道開発局・小樽市も交えた地元組織作り等に取り組んだ。

また、当会では平成29年度から3年間の期間を設け、各団体の環境整備を支援する事業を開始した。

2. 参加した方々や、周辺の方々の満足度

今年度取組んだ小樽駅前花いっぱい推進協議会および入船商店街による北海道開発局VSP事業による植樹柵植栽支援事業は、殆どの植樹柵が行政による年2~3回の除草のみのためこの街は雑草を栽培しているのでは?と思われていたが劇的に変化した事も有り、地元組織・市民に大変喜ばれた。

3. 今後の事業について

花壇整備等は、本来まちづくりの一環として行政が担うべき事業と考えているが、観光を重視する小樽としては、市民・観光客を花で飾ってお迎えするという視点は弱い気がする。当会や企業・団体・市民のプランター設置により点としての整備は効果を挙げて来ている。既存の植樹柵は、まだ雑草を栽培しているところが目に付く。行政の除草回数増を期待するが、継続して土壤交換による地元の花壇整備組織の育成に取り組む。

4. 「小樽市ふるさとまちづくり協働事業」に関する要望事項等